

第60番 横峰寺

●愛媛県西条市小松町石鎚甲2253
☎0897-59-0142
●宿坊／なし



第61番 香園寺

●愛媛県西条市小松町南川甲19
☎0898-72-3861
●宿坊／なし



沿線の見どころ



石鎚ふれあいの里

名峰・石鎚山の麓にある廃校を利用した宿泊施設。木造のケビン、キャンプ場、バーベキュー施設があり、夏は家族連れで賑わう。併設の食堂では日替わりの定食のほか、春には地元で採れた山菜料理、夏は流しそうめんなどが味わえる。食堂は11時から15時の営業、12月29日から2月末は休み。



境内の見どころ



仁王門

四国霊場で三番目の高地にある横峰寺。緑濃い木々に囲まれた本来の参道(遍路道)を行くと、堂々とした仁王門が現れる。元々、仁王像は寺から500mほど下った古坊という土地にあったものを現在の場所に移した。県内でも古い方に数えられる貴重なもので、造りも立派で見ごたえがある。



境内の見どころ



妻白大明神

寺に続く山道の途中には、横峰寺の氏神として開山以来、信仰をあつめている妻白大明神を祀った社がある。妻白大明神は豊作、商売繁盛、延命息災、家運隆昌など、諸願を叶えてくれるといわれる霊験あらたかな大明神。全国各地から多くの人々が訪れ、ご縁を結びたいと祈念している。



深山の趣あふれる境内は石楠花の名所としても知られる

第60番

石鉄山 横峰寺

いしづちさん ふくちいん よこみねじ

霊峰・石鎚山の中腹にある霊場

歴史・全体像

西日本最高峰・石鎚山(1982m)の山系中腹にある霊場。白雉2年(651)、星ヶ森(石鎚山遥拝所)で修行中の役行者小角は、石鎚山頂に蔵王権現の姿を見て、その姿を石楠花の木に刻んで小堂に安置した。

大同年間(806～810)には弘法大師も来錫。42歳の厄除け開運祈願のために石鎚山へ上った。星ヶ森で星祭りの修行をしていたが、結願の日に役行者と同じく蔵王権現の姿を見た。そこで、大師は本尊として大日如来を刻んで安置。第60番に定められた。その後、明治元年の神仏分離令で、石鎚山西遥拝所横峰社となるが、明治42年(1909)に横峰寺に戻った。

境内

標高約750mに位置する寺に至る道は、途中の平野からは有料道路になっている。山頂の駐車場までは、登山専用のマイクロバスも運行している。駐車場からは約500mの道のりを徒歩で下って10分ほど。狭い山道を歩いていると、いにしへの遍路行の苦労が偲ばれる。境内の山際には石楠花が植えられており、花の名所としても名高い。5月には美しい花でお遍路さんの心をなごませている。本堂は神社風の権現造りで、どっしりとした風情と美しさを漂わせている。室内には「神も仏もあり難いのは同じである」と説いた弘法大師の教義そのままに、左右大臣を祀っている。また、狛犬も一対ある。

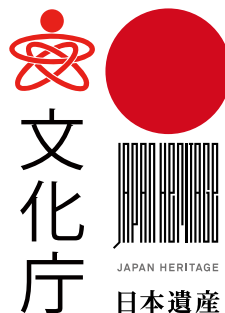
御詠歌／たてよこにみねや山べに寺
たててあまねく人をすくうものかな
本尊／大日如来
真言／おん あびらうんけん ばざら
だとばん
宗派／真言宗御室派
開基／役行者小角



堂内には左右大臣や狛犬などもある



☎ 愛媛県西条市中奥1号25-1
横峰寺から東へ13.4Km
☎ 0897-59-0203
☎ 9:00～18:00
☎ 12/29～1/3



日本遺産「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長1400キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が1200年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

文化庁日本遺産魅力発信推進事業／発行：四国遍路日本遺産協議会／制作：(株)エス・ピー・シー

こころをつなげて四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に



